

仙台東支店倉庫を新設竣工

第一貨物

倉庫面積 2倍強に

第一貨物(武藤幸規社長)は1日、宮城・仙台市に仙台東支店倉庫を新築、営業開始した。旧施設が東日本大震災で被害を受けたこともあり、顧客の安全・安心のため昨年建て替えを決定、このほど竣工したものの。

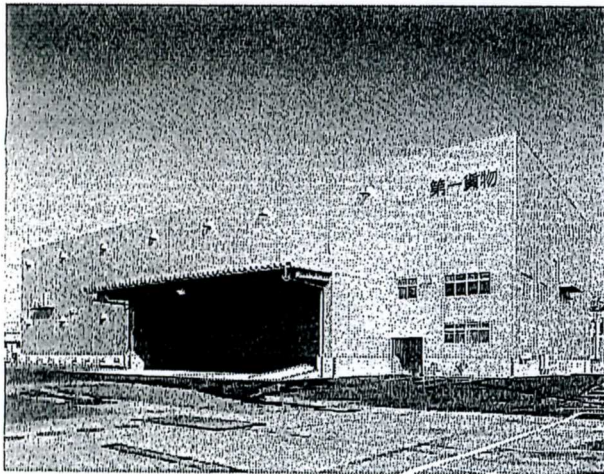
巻、古川の4事業所、3物流センター、1出張所、2荷扱所の拠点で全域をカバーしているが、仙台東支店倉庫の新築については、震災以後にみられる東北の貨物の増加傾向に対応し、復興を支

援していく意味も込めたとしている。
このため一時保管施設の併設による特積み事業とロジスティクス事業の相乗効果も狙い、宮城県の総合物流拠点として整備したという。

新施設は仙台市若林区

御町2-2-6に所在。建物は鉄骨造り3階建てで、延べ床面積5228.3平方メートルの規模。このうち倉庫部分は旧施設の2.16倍にあたる4572平方メートルを確保した。昇降速度が早く省エネ型の荷物用エレベーター1基、2パレット型の垂直搬送機1基を備えたほか、全照明にLEDを採用している。

同社は宮城県において、仙台東、仙台南、石



仙台東支店倉庫の外観